

プロジェクト状況可視化システム



AI技術によるドキュメント診断とソースコード診断により
品質不良や工程遅延リスクを早期発見

AIを活用したドキュメント診断やソースコード診断により、品質の均一化を実現

日々のレポートにより品質不良や工期遅延リスクを早期発見し、手戻り防止や業務効率向上を支援します。



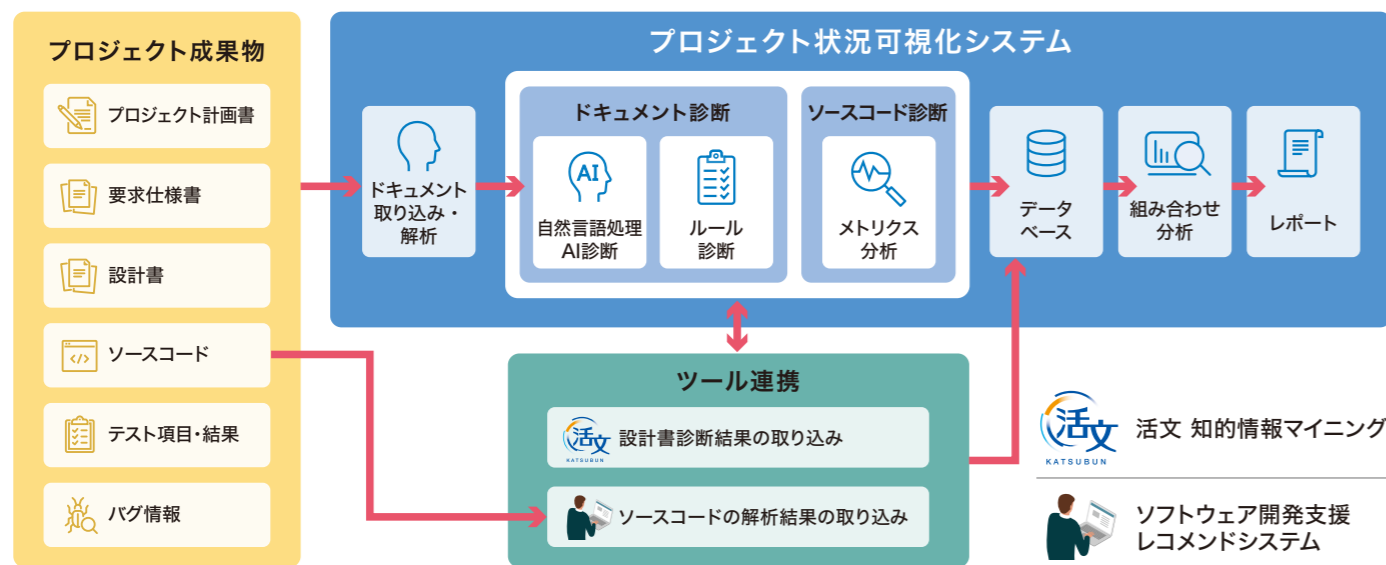
このようなお悩みはありませんか？

- 新規メンバーと既存メンバー間で、成果物の品質にばらつきがあり、修正に時間がかかる
- プロジェクトリーダーが多忙のため、状況把握に漏れが発生する
- 既存の成果物・フォーマットを継続して活用したいが、ツール入れ替えによりフォーマットが変更となってしまう

プロジェクト状況可視化システムが解決します！

- レビュー前に成果物の「品質が均一化」されることで、レビューアの負担を軽減
- 日々自動で集計・分析し、レポートिंगすることで各工程間の情報をタイムリーに管理可能
- 現在使用中のOfficeドキュメントやPDFなどをそのまま活用し、既存成果物を生かしたスムーズな移行が可能

ドキュメントとソースコードの品質診断



ドキュメント診断

自然言語処理AI診断とルール診断を組み合わせ設計成果物をチェック。企業や部門内での独自ルールをもとに、統一した基準で診断。AI診断は「活文 知的情報マイニング」と連携。

ソースコード診断

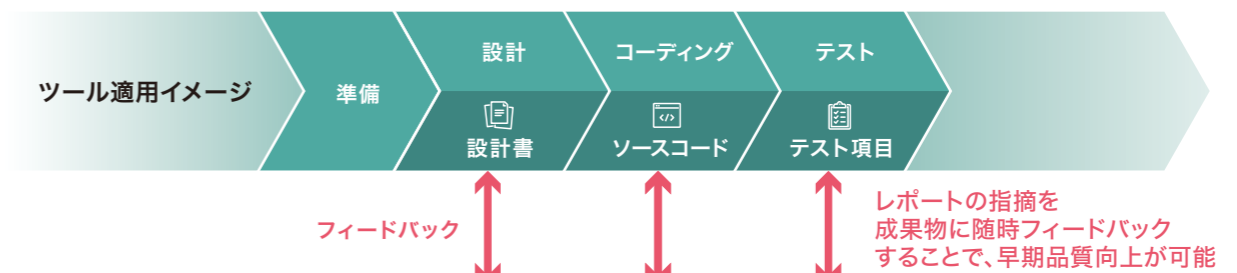
メトリクス分析により、ソースコードの複雑度や実行可能パス数、コメント率などを診断。メトリクス分析は「ソフトウェア開発支援レコメンドシステム」と連携。

【ドキュメント診断イメージ】



センテンス	指摘分類	指摘メッセージ
上限は100程度になる。	あいまい用語の懸念	注目単語：程度、に
対象としては問題無い想定。	未完成、検討不足の懸念	注目単語：想定
プロマネが最終的な決断を行う。	揺らぎチェック	プロマネ => プロジェクトマネージャ

レポートिंग



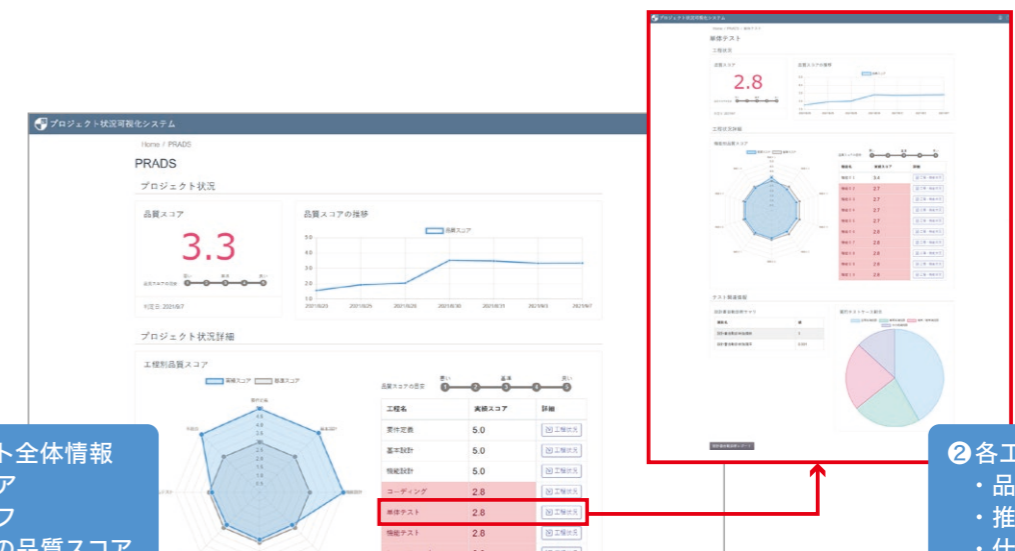
- ✓ 記載があいまい
- ✓ 未完成・検討不足
- ✓ 文章の揺らぎ・不備

担当者

- 日々のデータ収集・報告資料作成からの解放
- 問題の早期発見による手戻り防止

リーダー・マネージャー

- 最新のプロジェクト状況を日々確認可能
- 担当のフォローから解放



- ① プロジェクト全体情報
 - ・ 品質スコア
 - ・ 推移グラフ
 - ・ 工程ごとの品質スコア

- ② 各工程ごとの情報
 - ・ 品質スコア
 - ・ 推移グラフ
 - ・ 仕様書状況 など

効果

診断結果を参照し、成果物レビュー前に「品質の均一化」が可能
レビュー時の指摘・修正時間が短縮され生産性が向上

効果

プロジェクトのステークホルダーである、管理者・担当者ともに
プロジェクト全体の状況把握と共有が容易に

期待効果

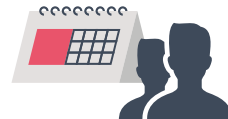
1. 成果物の品質診断

- 成果物のレビュー前に、「品質が均一化」されることで修正時間が短縮され生産性が向上
- ドキュメント診断
 - ・ 自然言語処理AI診断とルール診断を組み合わせで設計成果物を自動でチェックし、レビュー負荷を低減
 - ・ 企業や部門内で、統一した基準でのプロジェクト診断を実現
 - ・ ナレッジを蓄積し活用することで、成果物の効率的な品質向上を支援
- ソースコード診断
 - ・ ソースコードを自動診断することで複雑な作り込みを低減



2. 各工程の情報をタイムリーに管理

- チーム内で作業を分業化している場合でも情報共有が可能
- プロジェクトのステークホルダーである管理者・担当者ともにプロジェクト全体の状況把握が容易



3. 既存成果物をそのまま活用可能

- 使用中のOfficeドキュメントやPDFなどをそのまま活用
ツール入れ替えのロスコストを削減し、既存成果物を生かしたスムーズな移行が可能



機能

ドキュメント診断	<ul style="list-style-type: none">■ センテンスごとにAI診断・ルール診断を実行し、懸念事項の分類と判断根拠を一覧表示・ AI診断「活文 知的情報マイニング」 文脈や言葉の意味を捉えてドキュメントの「あいまい用語」「未完成・検討不足」「複雑な条件」の懸念事項を表示・ ルール診断 お客さまが決めたルール設定でドキュメントの「文章の揺らぎ」「文章の不備」をチェックし表示
ソースコード診断	<ul style="list-style-type: none">■ 「ソフトウェア開発支援レコメンドシステム」を用いてコード分析を実施■ メトリクスは、「関数数」「コード行数」「循環的複雑度」「コミット回数」などを表示■ 対応言語はC/C++、Java、C#
レポート出力	<ul style="list-style-type: none">■ 現在利用中のドキュメント、ソース、不具合情報をそのまま活用するため入力ルールを継承■ プロジェクトごと、各工程単位に品質スコア、推移グラフを表示■ 品質スコアはレーダチャートによる可視化
原因分析	<ul style="list-style-type: none">■ 不具合発生・流出、残件数などの推移グラフによる傾向把握■ 不具合の担当別、重要度別、作りこみ工程別の分析表示

関連ソリューション

活文 知的情報マイニング	Google社が公開した「BERT(自然言語処理AI)」を利用し、問い合わせや報告書などの大量の自然文テキストを自動分類し、業務の効率向上を支援します。
ソフトウェア開発支援レコメンドシステム	ソフトウェア開発時の注意すべきポイントを自動的に、わかりやすくレコメンドするシステムです。ソフトウェアの生産性・保守性・品質向上を支援します。
モデルベース開発ソリューション	MBD開発環境導入の支援、ならびにMBD開発の生産性向上を支援するツールを提供します。
自動車関連規格準拠支援ソリューション	Automotive SPICE®・機能安全規格準拠に対し、組織の体制作り・改善活動・プロセス構築支援から、自己診断ツールでの開発環境支援まで、豊富な支援サービスを提供します。

※本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/pjvsystem/

S21S-02-01

2023.09

